

2017 TOYOPET SL KART MEETING 全国大会

Festika Circuit MIZUNAMI



2017/10/20

大会事務局

公式通知 No.8

赤旗時の競技再開に対する対応について

今大会競技レース、各クラスにおいて、赤旗（競技中断）提示後の競技再開に関して、下記の通り国際カート規則ならびに J A F の国内競技規則通りとします。記載ない事項に関して、競技長や審査委員会の判断によって、その後が決定されアナウンスされます。

【公式練習およびタイムトライアル】

赤旗提示を確認したドライバーは速やかに競技を中止し、前車を追い越さず、指定のホームストレートまで戻り安全に停止。その場合、競技が 60%（赤旗提示前の時間）以上経過していた場合はその時点で終了とします。競技が 60%（赤旗提示前の時間）未満だった場合、全ドライバーが再スタートとします。

ただし、競技長が指定した時間に参加出来るドライバーのみとします。

【予選およびプレファイナル】

赤旗提示を確認したドライバーは速やかに競技を中止し、前車を追い越さず、指定のホームストレートまで戻り安全に停止。その場合、競技が 60%（赤旗提示前の周回数）以上の周回数を終えていた場合は、赤旗提示前の周回数で予選（プレファイナル）成立とします。競技が 60%（赤旗提示前の周回数）未満の周回数だった場合、全ドライバーが当初のグリッドポジションで再スタートとします。ただし、競技長が指定した時間に、スターティンググリッドに着けるドライバーのみとなり、トラブルの回復が見込めないドライバーはリタイアとします。

※競技周回数は天候等によって減算する場合があります

【ファイナル】 :

1. 赤旗提示がローリングで発生した場合⇒ローリングに参加していたドライバーのみで再スタート。
2. 赤旗提示が決勝 1 周で発生した場合⇒ローリングに参加していたドライバーのみで再スタート。
3. 赤旗提示が決勝周回の 60%未満で発生した場合⇒赤旗提示前の周回において、先頭車両から以降コントロールラインを通過していたドライバーのみがスタート時のグリッドに戻り、再スタートができます。ただし、競技長が指定した時間にスターティンググリッドに着けるドライバーのみとなり、トラブルの回復が見込めないドライバーはリタイアとします。

※競技周回数は天候等によって減算する場合があります。

注 1) リタイア車両があった場合、そのポジションは基本詰めないで再スタートとしますが、リタイア届けが出た場合、そのポジションは詰めて、グリッド編成を修正し、スタートします。

注 2) 車両の修復や軽度の整備（給油を含む）は、競技長からの指示が出るまでできません。車両の修復はピットエリアのみで行えるもので、その他のエリアで作業した場合はその時点で規則違反となり、レースに参加することは認められません。

4. 赤旗提示が決勝周回の 60%（赤旗提示前の周回数）以上の場合⇒その時点で決勝成立とします。

※注 1) ローリングを乱したドライバーによって赤旗が出た場合、グリッド降格や最後尾と判断します。

※注 2) 競技再開までに給油やカート修復が必要な場合、再開時間や対応を告知・アナウンスします。

注) 赤旗中断の原因がドライバーの整備ミスや単なる操作ミスの場合、再スタート位置を最後列にします。

以上